



蒼天の翼

全日本吹奏楽コンクール第53回岩手県大会

第38回岩手県高等学校総合文化祭吹奏楽部門

主催 岩手県吹奏楽連盟 岩手県高等学校文化連盟 岩手県中学校文化連盟 朝日新聞社



Program

- ◆特集 卒業生へのはなむけの言葉
 - ・校長、3学年長あいさつ 2
 - ・担任から 3
 - ・保護者からの一言メッセージ 4
- ◆PTAの活動
 - ・大会報告 6
 - ・PTA研修旅行・関東地区同窓会報告 7
 - ・母親委員会 8
 - ・千仰祭、伊藤榮氏講演 9
- ◆生徒の活躍 10
- ◆大会結果報告 11
- ◆千高の一年 14
- ◆平成27年度卒業表彰 15
- ◆生徒の活動 16
 - ・生産技術科・産業技術科
- ◆平成27年度進路決定状況 18
 - ・PTA会長あいさつ
 - ・1・2学年長あいさつ

Produced by

PTA調査広報委員会
「蒼天の翼」題字 千葉明美(H25卒業生)



千厩高校「オリジナルクリアファイル」
学科、部活動、学校行事等を「くわっば」キャラクターで表現しました。
イラスト：鎌田桜子(3年C組)・立身美穂(3年C組)

特集 卒業生へのはなむけの言葉

千高生への期待



校長 稲森 藤夫

保護者の皆様には、日頃から本校の教育活動に対してご理解とご協力をいただきまして厚くお礼申し上げます。

ご案内の通り本校は、教職員及び生徒諸君の弛まざる努力により、平成二十七年十二月十日現在で七十九名の生徒が就職を決め、今年度も年内就職内定率一〇〇%を達成しました。また、進学においては同日現在、国公立大学七名を含む三十六名の合格が決まっています。そして、平成二十八年一月十六日〜十七日に県内七会場で開催されたセンター試験には五十七名が挑みました。申すまでもなく、学校では、生徒一人ひとりの能力を開発し、それらを基に生徒が自主的に行動できるよう育成することが大切です。また、次のステージに向かって、行動や準備をする者に道が開けるとも言われています。これらを着実に実行できれば、結果として本校の歴史に新たな一ページが加わり、それが本校の伝統となっていくと思います。そのためには、保護者の皆様や地域の方々からのご支援が必要不可欠なものとなります。

さて、本校は、平成二十七年十二月十七日、キャリア教育の充実、発展に尽力した功績が認められ、文部科学大臣表彰を受賞しました。キャリア教育によって生徒に育成すべき能力は、「総合生活力」と「人生設計力」です。前者の構成要素は、「健康・体力」、「豊かな人間性」、「確かな学力」など、後者は、「社会を把握する力」、「勤労観・職業観」、「将来設計力」などです。

幸いなことに本校は、新聞を活用した教育(NIE)などの独自な取り組みとともに、地域のご支援に助けられ、有意義ですばらしい実践を数多く行うことができる環境にあります。また、三学科(普通科・産業技術科・生産技術科)併設という特徴を生かし、普通科にも就職指導を、また専門学科にも進学指導を生徒の希望に即して適時適切に行うことが可能であり、各学科に所属する生徒同士が相互理解の下、切磋琢磨できる環境が整っています。

また、生徒に自己の在り方・生き方を考えさせ、社会人・職業人として自立させるために、本校が長年にわたって取り組んできたものの中に異世代間交流があります。この活動により、生徒の「自己肯定感」や、「人間関係調整能力」等を育てることができま

す。本校は、教科の基礎・基本の習得とともに、生徒同士は言うに及ばず、教職員、そして地域の方々から、「生きる力」など多くのことを学び、自らの能力を培う場となっています。学びの場は校舎だけにとどまらず、学校以外の多種多様なフィールドも生徒の学びの場となっています。このことが、本校キャリア教育の大きな特徴の一つです。

三年生の皆さん、蜚雪の功成つてご卒業おめでとうございます。また保護者の皆様におかれましてもお子様のご卒業、誠に



三学年長 小川 賢作

立ち止まって、考える

おめでとうございます。私は千厩高校に赴任して三年目になります。本校ではじめての卒業生を送り出すことになりました。一年生から三年生まで持ち上がることができ、感慨深いものがあります。

高校時代は精神的にも不安定な時期だけに保護者の方々も何度か心配もされ、戸惑ったこともあったと思います。その時々を保護者の方々の優しい言葉や叱咤激励、周囲の友人の支えなどで生徒たちは乗り越えてくることができました。一方、自らが直面する問題に自身で立ち向かい、

もがきながらも「壁」を越えていった生徒もいます。応援歌練習・クラスマッチ・千仰祭などの行事、三年間必死に「勝利」のために取り組んだ部活動。それらの活動とおして大人へと成長していく姿を目の当たりにし、本当に頼もしく思ったものです。最上級生になり先輩としての自覚が芽生え、言動や行動にも責任と自信がうかがえるようになった四月。そこから進路目標に向けてガイダンス、面接練習、課外などに取り組み、それぞれの進路を達成することができました。学校を出て、社会へ巣立っていく生徒たちの将来はどうなっていくのだろうか。三年生の姿を見かける

ことが少なくなり、共に過ごす時間が減ってきた二月下旬。そんな事を考える時がありました。

情報社会が高度化し、日本はもちろん世界で起きた出来事がライブ映像で自分の掌で観ることが出来ます。活字離れがいわれ、紙媒体のメディアのあり方が議論されています。「中東」をめぐる情勢は混沌とし、多くの難民がヨーロッパへ希望を求めて歩みを進めています。インターネットをとおして知ることが出来るおびただしい数の情報やニュースをどれだけ自分で止しく理解することが出来るのか、考えることができるのか、共感できるのかが問われています。

「テロ事件」を見て感じた衝撃や思いを過去のものととらえず、立ち止まって物事を考える姿勢が個人の資質としてより大切になってくると思います。TVのニュースキヤスターが話す「それは、次のニュースいえますか」的な思考では本当のことを知ることはできない。世の中の多くの事にスピードが求められているけれど、速ければいいということほどんなことにもあてはまることではないのです。立ち止まって、考えてください。時には・・・

三年間、生徒の成長と共に歩んでまいりましたが、こちらが逆に教えられることが多かったように思います。今、巣立ちの時を迎えました。皆さんの活躍を楽しみにしています。

担任から



三年A組担任
松平 一恵

御卒業おめでとうございます。今回の学年も一年次より持ち上がりで担任をすることができました。保護者の皆様、生徒の皆さんのおかげで、継続することでは得られない充実感を今、味わっています。本当にありがとうございます。

生の難しさや、人間の奥深さを論ずるカリスマ担任が現れ、日本一素晴らしいクラスになる、というような青春ストーリーを考えていましたので(嘘)、生徒がよほど、担任に気を遣ってくれたのだと思います(真実)。

おかげさまで、私の初卒業生は、無事、千厩高校を巣立っていけそうです。保護者の方々には、こんな未熟な私を見守っていただき、本当にありがとうございます。ご卒業おめでとうございます。



三年B組担任
佐藤 允治

生徒の皆さんが持っている優しさ、そして、素直で謙虚な心があれば、たとえ混沌とした、変化の激しい世の中であっても、しっかりと地に足を付けて進んでいくことができると思います。どうか自信を持って、物事に正面から向き合ってください。心よりご期待申し上げます。

「手がかかりませんでした。」
教員人生で、初めて担任になり、「これから忙しくなるんだろうな」と思っていました。思いの外、スムーズに卒業を迎えることができました。もともと、学級が荒れて、成績も振るわず、何の取り柄もないクラスに、救世主のように、人



三年C組担任
熊谷 篤

千日戦を終えた君達へ

高校生活三年間を日数に直すと、約千日間となる。実は千日は、人生が八十年と考えると、その三%ほどにすぎない。しかし、困難を乗り越え、様々なかけがえない思い出を刻んだ時間になったと思います。千日間を戦い抜き、ここに卒業を迎えた皆さん、本当におめでとうございます。

子どもの六十兆個の細胞は、一年間で全てが新しくなるといわれています。つまり皆さんは、これまで十八回も全く別の人間に変化し、成長して、大人となりました。ここまで何事もなく成長できた



三年D組担任
菊池 康弘

「子は育ち 増える出費に 減る会話」

幸運と、それを支えてくれた様々な人々に、どうか感謝し、その絆を大切にしたいと思えます。最後にくまのプーさんの言葉を贈ります。
「さよなら！って言うのがこんなにも辛い相手がいるなんて、僕はなんて幸せなんでしょう。」

小中学生のころとは違い、高校生ともなると親子の会話も少なくなり、タイトルのような川柳も生まれたりしています。実は私の長男も高校三年生。確かに会話する時間は減りました。ただ幸いに「高校野球」と「巨人ファン」というつながりがありましたので、三年間話題には事欠きませんでした。ただ高校野球は引退。また、ずっと「巨人」を応援してきていたので、これからもファンでいてくれるのか？と今後の不安が大きくなっております。

前置きが長くなりましたが、担任として、卒業式の日には必ず生徒に保護者の皆様へ、感謝の言葉を伝えるよう指導いたします。そこから、高校生活を親子で振り返って、多くの会話をしていただけばと思っております。
ご卒業おめでとうございます。



三年E組担任
八重樫 剛

三Eの生徒と供に過ごした時間、楽しくすごすことができました。本当に感謝しております。保護者の皆様に温かく見守っていただき、素直に成長してくれたと感謝申し上げます。

就職・進学と進路を決定し、親元を離れる人、自宅から通う人、働いてみて初めて判ること沢山あると思います。今できることを、ひとつずつ取り組んでください。メール、ラインではなくアナログで対応してください。人との出会いに感謝して、楽しんでください。今後ますますの活躍を期待しております。悩み事、相談があればいつでもお待ちしております。



三年F組担任
八重樫 俊幸

はなむけの言葉

卒業おめでとうございます。三年間の高校生活は人生で一番心に残り、楽しい思い出となる時期ではなかったでしょうか。みなさんの進路が決定したときの笑顔が印象的でした。前よりも自信にあふれている姿を見ては、頼もしく感じられました。人生はこれからです。これからをどう進むか楽しみです。遠回りしても少しずつ目標に近づけばよいと思います。みなさんの健康と活躍を願っています。

保護者からの二言メッセージ



あなたが小学生の頃、千高の校舎前を通るたび、「いつか、あの学校に行きたい」って嬉しそうに話してくれた事、とても懐かしく思い出されます。ん。卒業か。ちよつとさびしいけど、おめでとう。

本人曰く、素直で正直に育った〜っ!!
なんて言ってる程楽しく、学校生活を送れたと思います。ありがとうございます。

三年間、長い様で短かった三年間でした。

毎日、学校での出来事、楽しく聞かせてくれました。友達にも恵まれ、高校で出逢った仲間は一生の友達になると思います。

兄妹の二人。
送迎に忙しい四年間でした。もうすぐ、さみしくなるかな。
お世話になりました。

三年間、大変お世話になりました。ありがとうございます。
きつと心に残る、良い思い出のできた三年間であり、心も成長したと思います。

あつと言う間の三年間でしたね。この三年間で得たものは必ず未来の役に立ちます。携わってくれた全ての人に感謝し、自分もいつか逆の立場で皆から「ありがとう」と言われる人になつて下さい。
卒業おめでとう。

高校に入学したかと思えば、もう卒業……。あつと言う間の三年間でした。生産技術科に入り、いろいろな検定を受け資格を取ることができて、良かったと思います。やっている時は大変でしたが、今となれば本人にとってプラスになるとばかりです。ありがとうございます。

卒業おめでとうございます。この日を迎える事ができて、とてもうれしく思います。うれしい事、楽しい事、悲しい事、いろいろな経験をされたと思います。その経験を力にして、歩んで行って欲しいと思います。

これまで、ご指導いただいた諸先生方に心より感謝申し上げます。

卒業おめでとう、海斗の未来に夢はある男が一度決めた事は、最後までやりとげる!!
迷った時は、話をしなさい。解決でき

なくとも聞く事はできる。

◎常に感謝の心を忘れずに!!

二年生の冬、体調を崩し入院してしまいました。三年生への進級もできるのだろうか、とても心配しましたが、無事進級することができました。そして、本人の本当にやりたい夢を見つけ、その夢に向け進級することも決まり、充実した高校生活でした。長いようで短い三年間でした。とてもお世話になり、ありがとうございます。

入学して間もなく始められた応援歌練習の厳しい指導に、不安ながら必死に取り組む姿を懐かしく思い出します。あつという間でした。三年間のご指導ありがとうございました。

卒業おめでとう。この岩手の地に生まれ、早十八年。なにはたくさん勇気をもらい、助けてもらった。これからは、なのなやりたいうように人生を歩んで!!いつも笑顔でね。ありがとうございます。応援するよ。

高校生活もあつと言う間の三年間だったと思います。これからのそれぞれの旅立ちには、不安と希望で戸惑う気持ちでしょう。でも一歩一歩、夢に向かって前進していつてほしいと思います。

校内での生徒の様子を見てみると、生活指導が徹底しているんだなと誇らしげに思いました。



卒業おめでとうございます。社会人になっても、がんばって下さい。最後に先生方、三年間ありがとうございました。

これからは、時間割はありません。でも、人生の勉強は一生なんです。頑張ってください。

ご卒業おめでとうございます。千厩高校三年間でのさまざまな活動により学んだ事を今後活かしてほしいと思います。春からの新生活は大変な事も多いと思いますが、困難を乗り越えれば喜びは大きく自信もつきます。諦めず焦らず、前進してほしいと思います。

校長先生をはじめ諸先生方には親身になつてお世話頂き、心より感謝申し上げます。



中学校のような部活の「追っかけ」はありませんでしたが、本人(娘)はそれなりに充実した高校生活を送ってくれたと思います。

おかげ様で全ての子供(四人)も社会人となります。私も千厩高卒ですが、今後とも、千厩高校のますますの御発展をお祈りします。

高校に入学し、環境の変わり、友達も増える中で、どのような学校生活が始まるか親としても気になる所でしたが、部活も三年間続け、結果も出し、充実した三年間だったと思います。これからも高校生活で得たさまざまな事を将来に生かして欲しいと思います。三年間、諸先生方にお世話になり、ありがとうございます。

卒業おめでとう。授業中の居眠り話を聞かされる度に、つついっ心配になったものでしたが、自分の進むべき道を見つける事ができ、有意義な三年間になった事を喜ばしく思います。ご指導頂いた先生方や、共に過ごした仲間との思い出を糧に、また一歩、胸を張って踏み出す春ですね。頑張れ!!

千厩祭では明るくエネルギー溢る生徒たちとレベルの高い作品に感銘を受けました。千厩高校のますますの発展をお祈りします。三年間お世話になりました。

千厩高校の先生方には、二人の子供がお世話になり、大変感謝致しております。また、進路説明会、講演会等、親も勉強になる事がたくさんあり、楽しい思い出です。高校に行く事がなくなると思うと、正直寂しいです。今まで本当にありがとうございました。

いろいろ学び悩み、感動し、充実した高校生活になったようです。千厩高校、山仰館、お世話になりました。

この三年間、我が子はたくさん経験や挫折を糧に成長することができました。これもひとえに、たくさん周りの人たちのご縁があつてこそです。今後、社会に出るにあたり、今までのご縁や新たなご縁を大切にしてください。皆さまのご指導ありがとうございます。

授業中、願想してしまう事も多々あり、それでも学びたい事があると通い続け……。人生、紆余曲折あります。今まで以上、それ以上のたゆまぬ努力を期待します。

いつまでも本気で何もしない息子に、一生懸命にお導きいただいて、ここまできました。「オマエはどこに行きたいのだ!いつ本気になるんだ?」と問いかけて下さったことに、とても感謝しています。

特集 卒業生へのはなむけの言葉



PTAの活動

全国高等学校 PTA連合会大会

千葉会長がパネリストを
務め大成功!!

全国高等学校PTA連合会大会 「岩手大会を終えて」

PTA会長 千葉 弘之

平成二十七年八月十九日(水)～八月二十一日(金)にかけて、岩手産業文化センター(アピオ)を中心に盛岡市アイスアリーナ、県民会館などを会場に第六十五回全国高等学校PTA連合会岩手県大会が開催されました。今年度、県南地区高等学校PTA事務局である本会が運営実行委員に選任され、準備を進めて参りました。

全体会では「青少年の健全育成に関わる研究発表」ということでしたが、講師の木原先生から地元の代表者ということで指名を受け、パネラーとして参加させていただきました。全国から参集された一万人の関係者を前に舞台上上がり、会場の皆さんと青少年の健全育成について議論を交わしました。話しはSNS(ラインなど)によるトラブルが中心になり、文明の利器が逆に人を苦しめることにならないようにと熱く語りあう流れになったと感じますが、その中にも岩手県の生徒(人材)のすばらしさを少しPRできたかなと思っております。

当日は、本会の役員さんや校長先生をはじめ先生方が大勢参加していただき、励ましの言葉など、仲間って本当にいいなと感じた岩手県大会でした。皆さんご苦労様でした。そして、ありがとうございました。



東北高P連 青森大会

「ふるさとを愛し、豊かな心を育むために」PTA活動とふるさと教育」をテーマに、第六十四回東北高P連大会が青森県青森市で七月二日～三日に開催されました。今回の大会は、本校から千葉弘之会長、尾形英子副会長、須東理恵母親委員、阿部正孝事務局長、山本和歌事事務局員の五名が参加しました。初日の情報交換会では、開催地青森の特産品を紹介していただき、また、日本ハイタッチ普及協会の工藤氏によるハイタッチにより、他県からの参加者とも楽しくコミュニケーションをとることが出



来ました。

二日目の開会行事は、五所川原第一高等学校による津軽三味線のすばらしい演奏から始まり、その後に行われた研究協議の中では、各県の代表者の発表により、さまざまな特色あるPTA活動が紹介されました。質疑応答では、タイプの異なる高校での活動を、いかに自分たちの活動に生かすことが可能か、活発な意見交換が行われました。また、高校生からのメッセージでは、青森の特徴を生かした農業高校の商品開発の発表に感心させられ、また、定時制通信制高校に通う生徒の体験談に涙をする場面もありました。

午後からは恐山の僧侶、南直哉氏の講演も行われ、二日間を通し、貴重な経験をするとともに、青森のすばらしさを再発見することが出来たすばらしい大会でした。



PTA 研修旅行



初めて参加した PTA 研修旅行

研修委員 佐藤 誠一

平成二十七年九月十三日(日)PTA 研修旅行に参加しました。行き先は、「麒麟ビール工場」と、七月にオープンしたばかりの「仙台うみの杜水族館」です。

参加者は、教職員、役員、会員、合わせて三十五名の参加でした。行ききのバスの中では、挨拶に始まり、参加者全員のユーモアあふれる自己紹介などで楽しい時間を過ごしました。

麒麟ビール工場の見学が終わると、ビールの試飲コーナーがあり、出来立ての美味しいビールを飲みながら、研修旅行の最大の目的である。PTA 同士の親睦を深めることができましたと思います。

水族館は、オープンしたばかりですごく混雑していましたが、見学時



間を多めに取っていたため、十分楽しむことができました。楽しい研修も、帰りのバスの時間となり、バスの中では、ビンゴゲームに熱が入りあつという間に学校に到着しました。

今回は、研修委員として、初めて参加し思い出に残る貴重な体験となりました。この研修旅行に参加していただいた先生、PTA 会員の皆様本当にありがとうございます。

最後に、来年も研修旅行がありますので、PTA 会員の皆様の参加をお待ちしております。

「平成二十七年関東地区新卒者激励会」並びに、「平成二十七年千厩高校同窓会東京支会総会並びに懇親会」報告

六月十四日(日)、上野精養軒で、「平成二十七年関東地区新卒者激励会」並びに、「平成二十七年千厩高校同窓会東京支会 総会並びに懇親会」が盛大に開催されました。

千厩高校から教員六名が参加し、三月に本校を卒業した十五名の新卒者と和やかな雰囲気の中で情報交換を行いました。それぞれの近況報告で、充実した学生生活や、慣れない仕事に苦労しながらも懸命に日々を過ごしている様子に、成長しつつある姿を確認する

ことが出来ました。新卒者はその後の同窓会懇親会にも参加し、親子以上に年齢差のある一部のOBにも臆することなく笑顔で対応しており、人間としての成長も感じさせてくれました。母校の発展を願う気持ちは全ての同窓生に共通です。

参加した新卒者の近況報告



菅原 沙弥加
(本田技研工業株式会社 埼玉製作所)

本田技研工業 埼玉製作所小川工場に配属され、エンジンを作っています。二ヶ月間研修をおこない、六月から現場に入り、一人で作業を行っています。勤務が早番遅番とあり、慣れるまで大変ですが、遅刻をすることも無く頑張っています。



松尾 広太郎
(東洋大学 国際地域学部)

東洋大学 国際地域学部に進学しました。国際ということ、外国について学ぶことが多いです。現在フランス語の授業があり、明日もフランス語のテストです。なかなか難しいのですが、頑張っています。地域学部ということ、地域についても学べます。将来千厩のために役立つことをたくさん学べたいと思います。

岩手県立千厩高等学校同窓会東京支会



母親委員会

母親委員の活動を終えて

母親委員長 尾形 英子

四月新役員を迎え心機一転、千仰祭の盛り上がり上げるために何をしようかを考えていました。

今年度活動として九月末と十月の初めに、山仰館において午後六時半から二時間づつで作成できるものとして、「ポンドで貼って作るバッグと小物」に決まりました。

その理由としては裁縫が得意ではなくてもオリジナルのバッグが作れるということでした。



①簡単！「針と糸なしで作る小物とバッグ」講習会
日時 平成27年9月15日(火)、10月6日(火)
場所 山仰館
講師 母親委員長 尾形 英子 氏
参加者 24名 ※作品を千仰祭で展示

しかし、慣れない講師役はとても大変で四苦八苦してましたが、参加してくれた友人たち、担当の先生方の助言や役員たちの協力でのりきり学園祭にはたくさんのバッグと小物を展示できました。その出来栄は仕上がりがりも良く個性が光るすばらしいものとなりました。

十月になり、おやつ講習会を行い当日はチーズ、抹茶、くるみとみそを組み合わせた、ココアとバナナの四種に決まり、なんだかワクワクしました。

千仰祭には前日から準備をし、当日は生徒たちにもおもてなしを手伝ってもらいました。天気には恵まれなかったのが残念でしたが、四種類ともおいしかったと好評でした。

この他にPTAの研修会なども積極的に参加して東北大会、全国大会も、すご



②「手づくりおやつ」講習会
日時 平成27年9月29日(火) 場所 調理室
内容 蒸しパンアラカルト他 参加者 16名
※千仰祭で蒸しパンふるまい



い楽しくて勉強させてもらえた一年でした。まるで自分の高校生活を思い出すように密度の濃い一年間でした。これは一般の会員の皆様方にも経験してほしいと思います。いつもやさしくフォローして下さい



③平成27年度高P連県南地区母親会員交流会
日時 平成27年11月21日(土)
会場 岩手県立千厩高等学校 会議室
講師 ベジタブルディッシュ17 野菜ソムリエ 星 美根子 氏
「野菜の魅力とおもしろさ ～栽培から食事まで～」
参加者 20名



三好先生、いつもきつちりとしていて頼りになった山本先生、本当にお世話になりました。何をするのも不安を口にしていましたが、協力して支えてくれた役員さん達にも感謝の一年でした。本当にありがとうございました。

千仰祭

2015.10.11(日) 9:30~15:00
岩手県立千厩高等学校

ステージ発表
ライブハウス
食

カレーライス 350円
豚ふろではら 350円
きつねではら 350円

千仰祭

10月11日(日) 公開
9:30~15:00

テーマ
輝跡 ~感謝の思いを胸に~
岩手県立千厩高等学校

2015
千仰祭



本校OB伊藤榮氏 講演で生徒を激励
「経済に学ぶ」
講師：日本銀行盛岡事務所長 伊藤榮氏(千厩高校第三十二回生)

本校OBの伊藤榮氏は、千仰祭一日目の十月十日、本校第一体育館で行われた講演会の中で次のように述べ、生徒を激励しました。

【伊藤榮氏講演録より抜粋】

今すべきことの一番目は、自分の強みを知ってほしいということ。二番目は、その上で目標を持つてほしいということです。三番目は、リスクを知ることです。(略)また、自分の強みが分からないという人は、まず、全体を見渡す「鳥の目」、次に二つを細かく見る「虫の目」、そして物事の流れをしっかりと見極める「魚の目」という三つの視点で物事を見ることに努めてみてください。

鳥の目というのは何かというと、世の中全体を見渡す大きな目で見るということでもあり、物事を別の角度から見るということでもあります。人の見方が違うというのは非常に大事なことです。自分が熱中しているところから歩いて、別のところから見るとみる目を鳥の目といいます。そういつた目を持って物事を見てほしいのです。ことわざで、「木を見て森を見ず」とい

う言葉があります。まずは木ではなく森全体を見る目をもつということが大切です。

次は、虫の目です。これは言葉から分かるとおり、細かく見るということです。いろいろな興味のあることをとことん突き詰めてみるということ。新しいことを、これは何だろうと見つめていく目です。トヨタの工場では生産ラインが失敗してしまうと、なぜ失敗したのかを探るために五回の「なぜ」を繰り返します。同じように、例えば高校のサッカーの試合で負けたとします。負けには必ず原因があります。なぜ負けたのか、フォワードの力が弱いからか、なぜフォワードの力が弱いからか、練習の質と量が不足しているからだ。というように、どんどん「なぜ」を繰り返すのが虫の目の作業です。一生懸命考えて、一つのこと集中するの也非常に大事なことです。

最後に、三つの視点の中で一番大事なのが魚の目という見方です。魚は潮の流れを感覚的に覚えないと餌を採れません。魚の目というのは、潮の流れを見て変化をかぎ取る目ということです。

生徒の活躍

ロボット競技

平成二十七年度岩手県高等学校ロボット競技全国大会選考会 第三位

全国大会を目指して

産業技術科 加藤 麗央

私たちは岩手県高等学校ロボット競技全国大会選考会に出場し、第三位となり全国大会への出場権を獲得しました。

ロボット製作で苦労したところは満点を取れるロボットのアイデアが思い浮かばなかったところです。アイデアが

固まっても、改良の際に試行錯誤し何度も作り直したため、完成に六ヶ月かかりましたが柴田先生、佐藤先生からのアドバイスもあり良いロボットを作る事ができました。

大会では一回目の競技でタイヤが外れてしまい失格となりましたが、二回目では自己ベストを出し、同点だった三チームと重さで競い重量差で三位となりました。

全国大会までの短い期間の中でさらに改良を重ね、上位入賞できるように頑張っていたと思います。

ソフトボール部

東北・北海道公立高等学校女子ソフトボール大会優勝

目標への一歩

二年B組 阿部 綾乃

八月一日、二日に行われた、東北・北海道公立高等学校女子ソフトボール大会の決勝戦で青森県立弘前中央高等学校と対戦しました。四対三で勝利し、今年二度目の優勝を果たしました。

私たちソフトボール部は「インターハイ出場」の目標を掲げ日々の技術練習や体力メニューなどに取り組んでいます。今回の公立大会は、他県の高校と試合をすることができた大切な大会だったと思います。練習試合とはまた違った緊張感で試合ができたのは、私たちにとって大きな収穫となりました。



この結果から自分たちのやってきた事にさらに自信を持つことができました。インターハイ出場に向け、自分自身を見つめ直し、個々の力、チームの力とも向上させます。今後も応援、よろしくお願いたします。

岩手県選抜チームとしてプレーして

二年D組 小林 彩香

今年、三年生四名、二年生十名という二年生主体のチームで活動しました。

三二国体では、宮城県選抜に勝つための福島県と山形県選抜に負け、和歌山国体へ出ることはできませんでした。他県と比べスピード感や勝ちへの貪欲さが劣っていると実感したのでこの課題を来年

箏曲部

岩手県高等学校総合文化祭 日本音楽演奏発表会 優秀賞

心を一つに

二年E組 橋本 玲菜



私たちは箏曲部は、十月六日に行われた岩手県高等学校総合文化祭で優秀賞を受賞し、来年度、広島県で開催される全国高等学校総合文化祭日本音楽部門の出

場が決まりました。

県高総文祭では審査曲として「箏と十七絃による三重奏曲」、自由曲として「GRADATION〜風邪の彩〜」の二曲を演奏しました。特に、審査曲の方は難易度が高く、大会が近くなっても課題がまだ残っている状況でした。しかし、先輩からのアドバイスやコーチ・先生方からの細かいご指導により、お互いの不安な所を部員全員で共有したことで、心を一つに落ちついて演奏をすることができました。

最後に、良い結果を出せたのも先輩方、先生方、コーチのおかげです。本当にありがとうございます。来年の全国大会に向け、日々の練習に励みたいと思います。

陸上競技部

平成二十七年岩手県高等学校新人陸上競技大会 三位
平成二十七年岩手県高等学校新人陸上競技選手権大会 出場

「歩」

二年F組 三浦 大和

僕は岩手県高等学校新人陸上競技大会の五〇〇〇m競歩に出場し、三位という成績を残しました。レースでは、最初から最後までほとんど歩型が崩れずリラックスして歩くことができました。途中でペースが落ちたが、粘り強い歩きをすることができました。東北大会では、競技場の雰囲気や大会とは遠く緊張してしまっただけか体に入ってしまった良いタイムを残すことはできませんでした。

普段の練習は走ることがほとんどで、メニューが終わった後の空き時間を見つけて競歩の練習をしています。

今後は、冬場の練習でしっかりと自分を追い込んで一つでも上の大会に行けるよう頑張りたいです。



大会結果報告

運動部

〈陸上競技〉

●第19回みちのく春季陸上競技大会

- 1部女子400m
- 第11位 菅原 愛佳(3D)
- 1部女子800m
- 第13位 菅原 愛佳(3D)
- 1部女子3000m
- 第11位 加藤ひとみ(2E)
- 1部女子100mH
- 第12位 三浦 快嶺(2A)
- 1部女子砲丸投
- 第14位 芳賀 伊代(3E)
- 1部男子円盤投
- 第14位 熊谷 翔太(2F)

●第69回盛岡市内一周継走

第12位

●平成27年度春季陸上競技会

- 女子400m
- 第8位 菅原 愛佳

●第67回岩手県高等学校総合体育大会陸上競技

- 男子100m
- 準決勝進出 佐藤 裕太(3A)
- 400mH
- 準決勝進出 佐藤 裕太(3A)
- 400m
- 準決勝進出 高橋 夢羽(3A)

●第67回岩手県高等学校総合体育大会バスケットボール競技

- 第14位 熊谷 翔太(2F)
- 女子400m
- 準決勝進出 菅原 愛佳(3D)
- 800m
- 準決勝進出 菅原 愛佳(3D)
- 走幅跳
- 第13位 鎌田 桜子(3C)

●平成27年度岩手県陸上競技選手権大会

- 男子2部3000mSC
- 第4位 皆川虎之介(2B)
- 円盤投
- 第3位 熊谷 翔太(2F)
- 女子1・2部5000m
- 第5位 加藤ひとみ(2E)
- 女子7種競技
- 第5位 三浦 快嶺(2A)

●平成27年度岩手県民体育大会陸上競技

- 3部走幅跳
- 第5位 千葉 樹(1B)
- 2・3部共通円盤投
- 第8位 熊谷 翔太(2F)

●第23回くりこま高原高等学校陸上競技選手権大会

- 男子3000mSC
- 第7位 皆川虎之介(2A)
- 5000mW
- 第5位 三浦 大和(2F)
- 走り幅跳
- 第6位 千葉 樹(1B)
- 円盤投
- 第7位 熊谷 翔太(2F)
- 女子100mH
- 第6位 三浦 快嶺(2A)

●平成27年度岩手県高等学校新人陸上競技大会

- 男子5000m競歩
- 第3位 三浦 大和(2F)
- やり投
- 第6位 熊谷 尚典(1B)
- 走幅跳
- 第7位 千葉 樹(1B)
- 円盤投
- 第8位 熊谷 翔太(2F)
- 400mハードル
- 準決勝進出 金野 拓末(1B)
- 女子7種競技
- 第5位 三浦 快嶺(2A)

●平成27年度第20回東北高等学校新人陸上競技選手権大会

- 男子5000m競歩
- 第14位 三浦 大和(2F)

●平成27年度秋季陸上競技大会

- 男子円盤投
- 第6位 熊谷 翔太(2F)
- やり投
- 第7位 熊谷 尚典(1B)

●第66回全国高等学校駅伝競走大会岩手県予選会

第14位

●第27回全国高等学校女子駅伝競走大会岩手県予選会

千厩・関合同チーム 出場

●第74回一関・盛岡間駅伝競走大会

第9位

〈硬式野球部〉

●第67回岩手県高等学校総合体育大会硬式野球競技兼第62回春季東北地区高等学校野球岩手県大会一関地区予選

1回戦 8-4 一関高専

2回戦 0-7 一関第一

敗者復活2回戦 8-0 一関修紅

敗者復活代表決定戦 3-4 大東

●第97回全国高等学校野球選手権岩手県大会

2回戦 6-7 水沢第一

●第67回秋季東北地区高等学校野球岩手県大会一関地区予選

1回戦 4-3 一関第一

代表決定戦 1-7 一関学院

敗者復活代表決定戦 16-0 一関修紅

●第67回秋季東北地区高等学校野球岩手県大会

1回戦 1-4 盛岡第三

〈バスケットボール部〉

●第67回岩手県高等学校総合体育大会バスケットボール競技

男子 2回戦進出

女子 出場

●第67回岩手県高等学校総合体育大会バスケットボール競技

男子 2回戦進出

女子 出場

●岩手県高等学校選抜大会県南地区予選

男子 出場

女子 出場

●平成27年度岩手県高等学校新人大会県南地区予選

男子 出場

女子 出場

〈バレーボール部〉

●第68回全日本バレーボール高等学校選手権大会岩手県予選会

男子 ベスト16

●第63回岩手県高等学校新人バレーボール大会

男子 ベスト16

女子 2回戦進出

〈卓球部〉

●平成27年岩手県高等学校総合体育大会卓球競技県南地区予選

男子シングルス 出場

男子ダブルス 出場

女子シングルス 出場

女子ダブルス 出場

●第15回遠藤泰彦杯争奪卓球大会

男子2部

ベスト8 佐藤 裕介(2F)

女子2部

第3位 菊地 唯(2C)

ベスト8 小野 奏(2B)

●第67回岩手県高等学校総合体育大会卓球競技

男子 学校対抗 出場

女子 学校対抗 2回戦進出

●平成27年度岩手県ジュニア卓球選手権大会兼全日本卓球選手権大会ジュニアの部岩手県1次予選会

2次予選会通過

菅原 裕美(2A)

代表決定戦進出

佐藤 裕介(2F)

●平成27年度岩手県ジュニア卓球選手権大会兼全日本卓球選手権大会ジュニアの部岩手県2次予選会

女子シングルス

2回戦進出 菅原 裕美(2A)

●第39回岩手県南オープン卓球選手権大会

女子団体 第2位

シングルス

第3位 菊地 唯(2C)

●平成27年度岩手県高等学校新人卓球大会県南地区予選

男子 学校対抗 第3位

女子 学校対抗 第2位

男子ダブルス

予選通過 佐藤 心人(1A)

千葉 俊哉(1C)

女子ダブルス

予選通過 菊地 唯(2C)

尾形美奈子(2E)

男子シングルス

予選通過 小野寺 峻(2F)

予選通過 佐藤 心人(1A)

予選通過 佐藤 和輝(1C)

女子シングルス

予選通過 菅原 裕美(2A)

●第61回岩手県高等学校新人卓球大会

男子団体 2回戦進出

女子団体 ベスト16

男子シングルス

2回戦進出 小野寺 峻(2F)

出場 佐藤 心人(1A)

出場 佐藤 和輝(1C)

女子シングルス

2回戦進出 菅原 裕美(2A)

男子ダブルス

2回戦進出 佐藤 心人(1A)

千葉 俊哉(1C)

女子ダブルス

3回戦進出 菊地 唯(2C)

尾形美奈子(2E)

●第39回東北高等学校選抜卓球大会岩手県予選会

女子 学校対抗 14位

●第50回一関市長杯争奪卓球大会

男子ダブルス

ベスト8 佐藤 和輝(1C)

千葉 直生(1E)

●平成27年度全国高等学校選抜卓球大会(個人戦)岩手県予選会

男子

4回戦進出 千田 達拓(1B)

3回戦進出 佐藤 心人(1A)

3回戦進出 千葉 俊哉(1C)

3回戦進出 菅原 凌雅(1D)

3回戦進出 小澤 彪雅(1E)

3回戦進出 千葉 直生(1E)

3回戦進出 小野寺 峻(2F)

3回戦進出 影山 達也(2F)

女子

3回戦進出 菅原 裕美(2A)

2回戦進出 菊地 唯(2C)

〈ソフトテニス部〉

●第67回岩手県高等学校総合体育大会ソフトテニス競技県南地区予選会

女子団体 第3位

女子個人

出場 尾形志穂梨(1A)

佐藤安未加(1D)

佐藤奈々子(1D)

菊地 光(2E)

小野寺由起(1B)

佐藤 結芽(1D)

2回戦進出 遠藤 亜美(3D)

佐々木夢叶(3B)

代表決定戦進出

山田 咲季(2E)

小松 依夢(2E)

代表決定戦進出

藤野 陽美(3B)

松尾日菜子(3A)

代表決定戦進出

村山 奈那(2E)

小松 亜美(2C)

女子個人

ベスト8 山田 美紗(3B)

金野 愛未(2B)

〈剣道部〉

- 第36回岩手県高等学校体育連盟県南支部総合体育大会剣道競技
 - 女子個人
 - 出場 加藤 怜(1B)
 - 出場 藤村 香里(2D)
 - 男子個人
 - 出場 及川 純(1E)
 - 出場 及川 智也(2B)
 - 出場 藤野 優作(2D)
 - 出場 佐藤 幸司(3B)
 - 出場 千葉 寛也(3F)
 - 2回戦進出 熊谷 海斗(2E)
- 第41回岩手県下居合道大会
 - 高校男子初・二段の部
 - 第2位 藤野 優作(2D)
- 第67回岩手県高等学校総合体育大会剣道競技
 - 男子個人
 - 出場 熊谷 海斗(2E)
 - 出場 及川 智也(2B)
 - 出場 佐藤 幸司(3B)
 - 出場 及川 純(1E)
 - 出場 小山 直樹(3A)
 - 出場 藤野 優作(2D)
 - 女子個人
 - 2回戦進出 藤村 香里(2D)
 - 出場 加藤 怜(1B)
 - 男子団体 予選リーグ第3位
- 第64回岩手県下剣道選手権大会
 - 高校男子2段以上の部
 - 出場 藤野 優作(2D)
 - 出場 熊谷 海斗(2E)
 - 高校女子2段以上の部
 - 出場 加藤 怜(1B)
 - 出場 藤村 香里(2D)
- 第58回岩手県高等学校新人剣道大会
 - 男子個人
 - 出場 及川 智也(2B)
 - 出場 熊谷 海斗(2E)
 - 3回戦進出 及川 純(1E)
 - 3回戦進出 藤野 優作(2D)
 - 女子個人
 - 出場 加藤 怜(1B)
 - 2回戦進出 藤村 香里(2D)
 - 男子団体 出場

〈弓道部〉

- 第67回岩手県高等学校総合体育大会弓道競技県南地区予選会
 - 女子個人
 - 第4位 白石 唯(2A)
 - 男子団体 第3位
 - 女子団体 第3位
- 第67回岩手県高等学校総合体育大会弓道競技
 - 男子団体 出場
 - 女子団体 出場
 - 男子個人 出場
 - 女子個人 出場
 - 国体2次選考会
 - 出場 菅原 有希(2E)
 - 出場 佐藤 穂波(3D)
 - 通過 嘉藤 知夏(3D)
- 第29回日太上太子堂奉納遠的弓道大会
 - 優勝 菅原 有希(2E)
 - 第2位 嘉藤 知夏(3D)
 - 第3位 佐藤 穂波(3D)
- 新入大会弓道競技県南地区予選
 - 女子 団体 第3位
 - 男子 団体 第4位
- 岩手県高等学校新入大会弓道競技
 - 女子団体 出場
 - 男子団体 出場
 - 女子個人 出場
 - 男子個人 出場
- 第34回全国高等学校弓道選抜大会岩手県予選会
 - 女子団体 出場
 - 男子団体 出場
- 〈ソフトボール部〉
 - 第67回岩手県高等学校総合体育大会ソフトボール競技
 - 第3位
 - 第10回東北高等学校女子ソフトボール選抜大会
 - 準優勝

- 女子個人
 - ダブルス
 - 第3位 石川 久愛(3A)
 - 熊谷ほなみ(3C)
 - 第5位 葛西 唯(2D)
 - 菊池 楓(2E)
 - 第67回岩手県高等学校総合体育大会バドミントン競技
 - 男子団体 ベスト16
 - 女子団体 ベスト8
 - 男子個人 ダブルス
 - 3回戦進出 伊藤 忍(3F)
 - 関 拓真(2A)
 - 2回戦進出 佐藤 尚輝(2B)
 - 金田 圭紫(2F)
 - 男子個人 シングルス
 - 出場 吉田 優治(2B)
 - 女子個人 ダブルス
 - 2回戦進出 石川 久愛(3A)
 - 熊谷ほなみ(3C)
 - 2回戦進出 菊池 楓(2E)
 - 葛西 唯(2D)
- 平成27年度岩手県高等学校新人バドミントン大会県南地区予選
 - 男子団体 第2位
 - 女子団体 第2位
 - 男子個人 ダブルス
 - 第1位 関 拓真(2A)
 - 佐藤 尚輝(2B)
 - 第2位 吉田 優治(2B)
 - 金田 圭紫(2F)
- 第3位 熊谷 直斗(2B)
- 遠藤 颯人(2F)
- 男子個人 シングルス
 - 第5位 吉田 優治(2B)
- 女子個人 ダブルス
 - 第3位 三浦 衣織(2B)
 - 菊池 楓(2E)
- 女子個人 シングルス
 - 第5位 葛西 唯(2D)
- 第55回岩手県高等学校新人バドミントン大会
 - 男子団体 ベスト16
 - 女子団体 ベスト16
 - 男子 ダブルス
 - 2回戦進出 金田 圭紫(2F)
 - 吉田 優治(2B)
 - 3回戦進出 遠藤 颯人(2F)
 - 熊谷 直斗(2B)
- 3回戦進出 関 拓真(2A)
- 佐藤 尚輝(2B)
- シングルス
 - 2回戦進出 関 拓真(2A)
 - 2回戦進出 吉田 優治(2B)
- 女子 ダブルス
 - 出場 三浦 衣織(2B)
 - 菊池 楓(2E)
- 出場 佐藤 朱里(2E)
- 小岩 萌華(2B)
- シングルス
 - 3回戦進出 葛西 唯(2D)
- 第67回岩手県高等学校総合体育大会ボクシング競技
 - 男子フライ級
 - 出場 菅原 輝(2F)
 - ライト級
 - 第3位 千葉 裕幸(2A)
 - 第3位 佐藤 雄真(2F)
 - ライトウェルター級
 - 第3位 小山 大輔(3B)
 - ウェルター級
 - 出場 熊谷 弘貴(2D)
 - 出場 千葉 洸(2F)
 - 第3位 菅原 元輝(3F)
- 女子ライトフライ級
 - 出場 小野寺 雅(3E)
- 第56回岩手県高等学校新入大会ボクシング競技
 - 男子1部
 - フライ級
 - 出場 菅原 輝(2F)
 - ウェルター級
 - 第3位 熊谷 弘貴(2D)
 - 出場 千葉 洸(2F)

- 第25回岩手県ジュニア選抜ソフトテニス選手権大会兼ハイスクールジャパンカップ2015予選会
 - 女子個人
 - 出場 山田 美紗(3B)
 - 金野 愛未(2B)
 - 男子個人
 - 出場 千葉 拓人(3C)
 - 藤野 研哉(3A)
 - ベスト8 千葉 裕太(3B)
 - 小松 健人(3A)
 - 3回戦進出 岸 凌也(2F)
 - 及川 朋也(2F)
 - 第67回岩手県高等学校総合体育大会ソフトテニス競技
 - 女子個人
 - 出場 山田 美紗(3B)
 - 金野 愛未(2B)
 - 女子団体ベスト16
 - 男子個人戦
 - 2回戦進出 及川 峻飛(2B)
 - 及川 晃士郎(3B)
 - 出場 岸 凌也(2F)
 - 及川 朋哉(2F)
 - 3回戦進出 千葉 裕太(3B)
 - 小松 健人(3A)
 - 男子 団体戦 出場
 - 平成27年度岩手県高等学校新入大会ソフトテニス競技県南地区予選
 - 女子個人
 - ベスト8 村山 奈那(2E)
 - 小松 亜美(2C)
 - ベスト8 佐藤奈々子(1D)
 - 金野 愛未(2B)
 - 代表決定戦進出
 - 尾形志穂梨(1A)
 - 山田 咲季(2E)
 - 小野寺由起(1B)
 - 佐藤安未加(1D)
 - 出場 小松 依夢(2E)
 - 菊地 光(2E)
- 女子団体 リーグ2位
- 第60回岩手県高等学校新入大会ソフトテニス競技
 - 女子 個人戦
 - ベスト32 佐藤奈々子(1D)
 - 金野 愛未(2B)
 - 出場 村山 奈那(2E)
 - 小松 亜美(2C)
- 団体戦 出場
 - 男子 個人戦
 - 3回戦進出 及川 峻飛(2B)
 - 小野寺健人(2B)
 - 2回戦進出 岸 凌也(2E)
 - 及川 朋也(2E)
- 団体戦 3回戦進出
- 第47回岩手県高等学校選抜室内ソフトテニス大会
 - 女子 個人戦
 - 出場 佐藤奈々子(1D)
 - 金野 愛未(2B)
 - 男子 個人戦
 - 出場 及川 峻飛(2B)
 - 小野寺健人(2B)
 - 男子 団体戦 出場
- 〈サッカー部〉
 - 平成27年度岩手県高体連県南支部総合体育大会サッカー競技
 - 第3位
 - 第67回岩手県高等学校総合体育大会サッカー競技
 - 2回戦進出
 - 高円宮杯U18サッカーリーグ2015
 - iLIAGUE
 - D3南 第4位
- 〈バドミントン部〉
 - 第66回岩手県高等学校総合体育大会バドミントン競技県南地区予選
 - 男子個人
 - ダブルス
 - 第2位 伊藤 忍(3F)
 - 関 拓真(2A)
 - 第5位 佐藤 尚輝(2B)
 - 金田 圭紫(2F)
 - シングルス
 - 第5位 吉田 優治(2B)

〈音楽部〉

- 第67回全日本合唱コンクール岩手県大会 優良賞
- 第25回岩手県合唱小アンサンブルコンテスト 銅賞

〈器楽同好会〉

- 第38回岩手県高等学校総合文化祭軽音楽部門 優良賞

〈囲碁将棋同好会〉

- 第39回全国高等学校囲碁選手権 団体戦A・第4位 渡邊 諒(3D) 菊池 凱天(3A) 伊東 一実(3A)

- 第37回岩手県高等学校将棋大会 団体戦B級 第9位 菊池 凱天(3A) 小山 輝(3C) 遠藤 優(3C)

- 第34回岩手県高等学校文化連盟将棋新人大会 団体戦B級 第8位 伊藤 久晃(2A) 藤野 拓磨(2F) 畠山 幸太(2F)

- 個人戦B級 第1位 伊藤 久晃(2A)

〈コンクール関係〉

- 第6回「いっしょに読もう!新聞コンクール」(全国)奨励賞 三浦 快嶺(2A) (県内)優秀賞 糸谷裕太朗(2B)

〈生産技術科〉

- 平成27年度岩手県学校農業クラブ連盟大会 農業情報処理競技 出場 佐藤 春翔(3E) 尾形 紗羅(2E) 菅原 有希(2E)

- 平成27年度岩手県学校農業クラブ連盟大会 プロジェクト発表 文化・生活 出場 佐々木彩夏(3E) 石川 愛美(3E) 佐々木碧彩(3E) 佐藤 遙(3E) 菅原 愛(3E) 鈴木 楓(3E)

- 意見発表 食料・生産 出場 千葉耕太郎(2E) 環境 出場 小野寺華輝(3E)

- 文化・生活 出場 藤原 京香(3E) 文化・生活 出場 山田 咲季(2E) クラブ活動紹介 出場 農業クラブ役員5名(3E) スローガン 最優秀賞 橋本 玲菜(2E)

- 第66回日本学校農業クラブ全国大会群馬大会 農業鑑定競技会 農業 出場 佐々木彩夏(3E) 生活科学 出場 尾形美奈子(2E)

- 平成27年度岩手県高等学校生徒の産業教育に関する研究分・作文コンクール 研究文の部 佳作 野菜分会(3E) 作文の部 優秀賞 小野寺華輝(3E) 佳作 千葉耕太郎(2E) 佳作 山田 咲季(2E)

- 小さな親切実行賞 千厩高校農業クラブ

〈産業技術科〉

- 岩手県高等学校ロボット大会選考会 第3位

〈家庭科〉

- 第3回学生ファッションデザイン 優秀賞 熊谷 海斗(2E)

〈ボランティア〉

- 一関東地区少年警察ボランティア協会・千厩警察署長活動協力感謝状 小山 夏恋(3B)

文化 部

〈書道部〉

- 第16回高校生国際美術展 佳作 千葉 麻依(2D)
- 第11回岩手日報高校書展 秀逸賞 千葉千愛美(2E) 入選 千葉 麻依(2D) 皆川 純也(2F)

- 第38回岩手県高等学校総合文化祭書道部門 第1種漢字・仮名 入選 藤野明日香(3E) 千葉 麻依(2D)

- 第2種漢字・仮名 秀作賞 嘉藤 知夏(3D) 千葉 緋奈(3D) 岩淵 美久(3E) 入選 小山 輝(3C) 佐藤 陸(3C) 小野寺麻衣(3C) 千葉美智子(3C) 佐藤 穂波(3D) 佐藤 真央(3D) 田島 妃優(3D) 岩淵 菜織(3D)

- 漢字仮名交じり 入選 佐藤 美玖(1A) 菅原 絢音(1A) 小野寺紗耶(1B)

- 第20回全日本高校・大学生書道展 準優秀賞 千葉千愛美(2E)

- 第44回岩手県書写書道作品コンクール 推薦 千葉千愛美(2E) 特薦 佐藤 美玖(1A) 菅原 絢音(1A) 小野寺紗耶(1B) 小野寺ふゆみ(1B) 佐々木 愛(1B) 村上周太郎(2C) 千葉 麻依(2D) 皆川 純也(2E)

〈美術部〉

- 第38回岩手県高等学校総合文化祭美術工芸展・第53回県下高校美術展 絵画部門 入選 菅原 結真(2A) 千葉 碧(2C) 日下みなみ(2C) 千葉 詩絵(1A) 菅原 優斗(1C) 菅原 遙(1C) 大内沙利菜(1D)

- 吹奏楽部 入選 菅原 結真(2A) 千葉 碧(2C) 日下みなみ(2C) 千葉 詩絵(1A) 菅原 優斗(1C) 菅原 遙(1C) 大内沙利菜(1D)

〈吹奏楽部〉

- 平成27年度全日本吹奏楽コンクール県南地区大会 第3位
- 平成27年度全日本吹奏楽コンクール岩手県大会 銀賞
- 平成27年度全日本アンサンブルコンテスト一関支部大会 管打8重奏 金賞 管打8重奏 銀賞

- 平成27年度岩手県高等学校総合文化祭写真展 入選 金野 健太(1E) 入選 皆川 裕登(1E) 入選(2点) 菅原 七海(3E)
- 平成27年度岩手県高等学校文化連盟写真専門部スライドフォトコンテスト 特賞 阿部 滉太(1E) 入賞 菅原 七海(3E) 佳作 佐々木悠貴(1D)
- 第14回高校生フォトコンテスト 第3席 阿部 滉太(1E)

〈写真部〉

- 平成27年度岩手県高等学校総合文化祭写真展 入選 金野 健太(1E) 入選 皆川 裕登(1E) 入選(2点) 菅原 七海(3E)
- 平成27年度岩手県高等学校文化連盟写真専門部スライドフォトコンテスト 特賞 阿部 滉太(1E) 入賞 菅原 七海(3E) 佳作 佐々木悠貴(1D)
- 第14回高校生フォトコンテスト 第3席 阿部 滉太(1E)

〈写真部〉

- 平成27年度岩手県高等学校総合文化祭写真展 入選 金野 健太(1E) 入選 皆川 裕登(1E) 入選(2点) 菅原 七海(3E)
- 平成27年度岩手県高等学校文化連盟写真専門部スライドフォトコンテスト 特賞 阿部 滉太(1E) 入賞 菅原 七海(3E) 佳作 佐々木悠貴(1D)
- 第14回高校生フォトコンテスト 第3席 阿部 滉太(1E)

〈箏曲部〉

- 第38回岩手県高等学校総合文化祭日本音楽部門 優秀賞(第2位) 2016年全国高等学校総合文化祭日本音楽部門出場
- 平成27年度県南地区高等学校演劇協議会合同発表会(第41回岩手県高等学校演劇発表大会県南地区予選) 優良賞

- 第7回東北・北海道公立高等学校女子ソフトボール大会 優勝
- 第21回岩手県高等学校新人選抜ソフトボール大会 第3位
- 第62回岩手県高等学校新人大会ソフトボール競技 準優勝
- 第47回岩手県高等学校選抜ソフトボール大会 第3位
- 第46回東日本高等学校女子ソフトボール 出場
- 平成27年度国民体育大会東北ブロック大会 兼第42回東北総合体育大会 出場 藤野あゆみ(3D) 阿部 綾野(2B) 伊藤 千尋(2D) 小林 彩香(2D)

- 第67回岩手県高等学校総合体育大会登山競技 男子団体 出場
- 第51回岩手県高等学校新人登山大会 男子団体 出場

- 第67回岩手県高等学校総合体育大会県南支部柔道競技 男子個人 第1位 60kg級 予選突破 畑山 悠雅(2D) 66kg級 第1位 佐藤 創太(1B) 第2位 菅原 寛人(1E) 第3位 菅原 達也(3A) 第3位 三浦 彪(2F) 73kg級 第3位 熊谷 竜一(3D) 90kg級 第3位 千葉 巧(3F) 第3位 小野寺 保(3F) 100・100kg超級 第2位 千葉 連太(2F) 第3位 及川 千晴(3F) 第3位 須藤 隆介(2D)

〈ワンダーフォーゲル部〉

- 第67回岩手県高等学校総合体育大会登山競技 男子団体 出場
- 第51回岩手県高等学校新人登山大会 男子団体 出場

〈柔道部〉

- 第67回岩手県高等学校総合体育大会県南支部柔道競技 男子個人 第1位 60kg級 予選突破 畑山 悠雅(2D) 66kg級 第1位 佐藤 創太(1B) 第2位 菅原 寛人(1E) 第3位 菅原 達也(3A) 第3位 三浦 彪(2F) 73kg級 第3位 熊谷 竜一(3D) 90kg級 第3位 千葉 巧(3F) 第3位 小野寺 保(3F) 100・100kg超級 第2位 千葉 連太(2F) 第3位 及川 千晴(3F) 第3位 須藤 隆介(2D)

- 第67回岩手県高等学校総合体育大会柔道競技 男子団体 予選リーグ第3位 女子団体 ベスト16 男子個人 66kg級 ベスト16 佐藤 創太(1B) 100kg級 ベスト16 小松 侑太(3F) 100kg超級 ベスト16 千葉 連太(2F) ベスト16 阿部 洋介(3F) 女子個人 48kg級 第3位 立身 美穂(3C) 57kg級 ベスト8 吉田真由香(2D)

- 全日本ジュニア柔道岩手県選考会 女子個人 48kg級 第2位 立身 美穂(3C)
- 第48回岩手県高等学校1・2年体重別柔道選手権大会 男子個人 1年66kg級 第3位 佐藤 創太(1B) 1年100kg超級 第3位 三浦 翔龍(1D) 2年100kg超級 第3位 千葉 連太(2F) 女子個人 2年57kg級 ベスト8 吉田真由香(2D)

- 第60回岩手県高等学校柔道新人大会 個人戦 100kg超級 準優勝 千葉 連太(2F) ベスト16 三浦 翔龍(1D) 100kg級 ベスト16 高橋 旺大(2C)

- 第60回岩手県高等学校柔道新人大会 個人戦 100kg超級 準優勝 千葉 連太(2F) ベスト16 三浦 翔龍(1D) 100kg級 ベスト16 高橋 旺大(2C)

- 第60回岩手県高等学校柔道新人大会 個人戦 100kg超級 準優勝 千葉 連太(2F) ベスト16 三浦 翔龍(1D) 100kg級 ベスト16 高橋 旺大(2C)

- 第60回岩手県高等学校柔道新人大会 個人戦 100kg超級 準優勝 千葉 連太(2F) ベスト16 三浦 翔龍(1D) 100kg級 ベスト16 高橋 旺大(2C)

- 第60回岩手県高等学校柔道新人大会 個人戦 100kg超級 準優勝 千葉 連太(2F) ベスト16 三浦 翔龍(1D) 100kg級 ベスト16 高橋 旺大(2C)

- 第60回岩手県高等学校柔道新人大会 個人戦 100kg超級 準優勝 千葉 連太(2F) ベスト16 三浦 翔龍(1D) 100kg級 ベスト16 高橋 旺大(2C)

- 第60回岩手県高等学校柔道新人大会 個人戦 100kg超級 準優勝 千葉 連太(2F) ベスト16 三浦 翔龍(1D) 100kg級 ベスト16 高橋 旺大(2C)

- 第60回岩手県高等学校柔道新人大会 個人戦 100kg超級 準優勝 千葉 連太(2F) ベスト16 三浦 翔龍(1D) 100kg級 ベスト16 高橋 旺大(2C)

千高の一年 各種行事

高総体開会式

応援団長 伊藤 忍

年度始めに開催される高総体開会式は、我々応援団が新入生に対し、質の高い指導が行えたかを確認するにはとても良い機会となりました。今年の応援歌練習は悪天候に見舞われたため、ほとんどが声の響きやすい室内での練習となりました。しかし、仕上がりに不安を感じていました。しかし、練習前後の時間を短縮し

て練習に充てるなどの工夫を講じ、当日は質の高い応援活動を行うことができたと感じています。

我々は「守るために変える」の精神で、千高の良さと伝統を継承するため、例年の枠にとらわれない新しい工夫や取り組みを行い、その中で大きく成長する事ができました。その一貫した活動は校内だけでなく、外部の方から高い評価と厚い信頼を頂きました。後期もこの良い流れのまま活動して欲しいと思います。本当にありがとうございました。



クラスマッチ

クラスマッチ実行委員長 菅原 愛佳

今年のクラスマッチでは、新しい種目などを取り入れました。タイヤ取りではチーム皆で協力し合い、楽しんでいました。各クラス全員、絆が深まったと思います。クラスマッチに向けて、私たちクラスマッチ委員会は、五月の終わりくらいから活動を始めました。やる事がとても多く、



- 1 総合順位
第1位：1年C組、第2位：3年B組、第3位：3年A組
- 2 クラス旗コンテスト
第1位：3年B組、第2位：1年D組、第3位：1年B組
- 3 クラスTシャツコンテスト
第1位：3年F組、第2位：3年B組、第3位：2年F組

なかなか決まらない事もたくさんありました。正直、成功できるかどうか不安でしたが、委員のみなさんがよく動き、予定通りに終えることが出来ました。忙しく大変でしたが、とても楽しい委員会活動でした。

委員長として、色々な意見をまとめるだけでなく、先頭に立って皆を引っばる大変さを学びました。先生方や実行委員のみなさんのおかげで行事を成功するだけでなく、楽しいクラスマッチにすることが出来ました。本当にありがとうございました。

合唱コンクール

合唱コンクール実行委員長 島山 智良



七月八日(水)に校内合唱コンクールが開催されました。クラスマッチを終えてすぐ、という短い期間内での練習にも関わらず、どのクラスも非常に美しいハーモニーを奏でてくれました。三年間で最後の出場となる三年生はもちろん、二年目の二年生や初出場の一年生までもが全力で練習をしていたことがとても印象的でした。

本番ではどのクラスも個性あふれる合唱でしたが、今年度の最優秀賞はカーペンターズの「トップオブザワールド」を歌った三年A組でした。驚いたことに、このクラスは伴奏と指揮を用意することなく、クラス全員で息を合わせることでキレイなハーモニーを奏でていました。ただ、この三年A組に限らず、どのクラスからも工夫と情熱を感じられる合唱を聞いたのは、非常に嬉しいことでした。熱気で蒸せ返る体育館の中に、個性豊かなハーモニーが響きわたったこの合唱コンクールは必ずや大切な思い出となったことでしょう。

平成27年度校内合唱コンクール

注) ☆: 最優秀指揮者賞

- 最優秀賞: 3年A組
 優秀賞: 3年B組 3年C組 2年B組
 優良賞: 1年B組 3年D組 2年F組
 指揮者賞: ☆3 B 島山智良 2 B 畑山紗英 1 B 藤原正樹
 伴奏者賞: 3 B 佐々木夢叶 3 C 藤野奈月 2 F 遠藤颯人

平成27年度卒業表彰

1 学校表彰

◎3年間皆勤賞(31名)

- 普通科(A組)伊東 一実・佐藤 蒼・藤野 研哉・千葉 水晶
 (15名) (B組)佐藤 岳・佐藤 幸司・小野寺 茂奈美
 (C組)千葉 拓人・菊池 夏帆・立身 美穂・加藤 直希
 佐藤 陸・尾形あゆみ
 (D組)千葉 天馬・渡邊 諒
 生産技術科(E組)小野寺 直人・後藤 和也・石川 愛美・小山 真衣
 (5名) 齋藤 璃奈
 産業技術科(F組)伊東 拓実・小野寺 保・加藤 颯央・佐藤 純平
 (11名) 佐藤 琢柁・佐藤 秀樹・菅原 真平・菅原 凌
 高橋 俊樹・千葉 巧・皆川 緒人

◎単年度皆勤賞(97名)

- 普通科(A組)伊東 一実・小山 直輝・菊池 凱天・佐藤 蒼
 (52名) 和樹・藤野 研哉・遠藤 京花・佐藤 麻美
 千葉 水晶
 (B組)佐藤 岳・佐藤 幸司・島山 智良・三浦 佑斗
 吉田 郁弥・青柳 実優・奥野 里彩・小野寺 紉香
 小野寺 茂奈美・小山 夏恋・佐々木 夢叶・須東 渚里
 時田 葵・三浦 奈々・山田 美紗
 (C組)千葉 拓人・藤原 立樹・菊池 夏帆・熊谷 ほなみ
 立身 美穂・遠藤 優・小野寺 優斗・小山 輝
 加藤 直希・佐藤 陸・玉澤 友輔・遠藤 舞
 尾形あゆみ・佐藤 玲奈・千葉 玲
 (D組)及川 涼太・小山 大我・熊谷 竜一・佐川 史
 千葉 天馬・橋本 明斗・三浦 悠・渡邊 諒
 伊藤 麻衣・佐藤 真央・永澤 美由紀・藤野 朋佳
 皆上 亜里沙
 生産技術科(E組)磯部 且太・小野寺 直人・小野寺 華輝・後藤 和也
 (18名) 石川 愛美・小野寺 和瑚・佐々木 彩夏・菅原 千春
 鈴木 鈴楓・千田 侑奈・藤野 明日香・小山 真衣
 齋藤 璃奈・佐藤 春翔・菅原 由衣・千葉 葵
 平栗 彩華・藤原 京香
 産業技術科(F組)青柳 伸輝・伊東 拓実・及川 拓海・及川 千晴
 (27名) 小野 雅斗・小野寺 大喜・小野寺 保・加藤 颯央
 小松 佑太・佐藤 幸司・佐藤 純平・佐藤 琢柁

- 佐藤 秀樹・佐藤 正樹・菅原 健一・菅原 真平
 菅原 達也・菅原 凌・高橋 俊樹・千葉 一郎
 千葉 孝典・千葉 巧・千葉 寛也・中澤 幸成
 皆川 緒人・伊勢 萌理・二瓶 鈴菜

◎部活動奨励賞

部活名	大会名及び業績	クラス・氏名
ソフトボール部	平成27年度国民体育大会 東北ブロック大会兼第42回 東北総合体育大会 出場	3 D 藤野あゆみ
産業技術科	第23回全国高等学校ロボッ ト競技大会出場 第25回全国産業教育フェア 三重大会 さんフェアみえ 2015	3 F 青柳 伸輝・伊東 拓実 及川 拓海・加藤 颯央 佐藤 幸司・佐藤 琢柁 菅原 凌・千葉 寛也 皆川 緒人・伊勢 萌理

2 教育関係諸団体表彰

- ◎財団法人産業教育振興中央会長賞 生産技術科 佐藤 春翔
 ◎岩手県産業教育振興会長賞 生産技術科 小野寺 直人
 生産科学コース 渡邊 愛衣
 生活科学コース 菅原 愛香
 ◎全国農業高等学校長協会会長賞 生産技術科 藤原 京香
 ◎岩手県学校農業クラブ連盟賞 生産技術科 小岩 悠璃
 ◎文部科学省認定全国高等学校家庭科技術検定1級(食物・洋服・洋服) 3種合格 生産技術科 藤原 京香
 伊藤 忍
 ◎財団法人産業教育振興中央会長賞 産業技術科 伊藤 忍
 ◎岩手県産業教育振興会長賞 産業技術科 伊藤 忍
 ◎全国工業高等学校長協会ジュニアマイスター顕彰 頭彰
 ゴールド 産業技術科 青柳 伸輝・佐藤 幸司
 シルバー 産業技術科 伊藤 忍・伊東 拓実・加藤 颯央
 佐藤 琢柁・菅原 真平・千葉 一郎
 千葉 寛也・伊勢 萌理

3 外部団体表彰

- ◎千厩ロータリークラブ会長賞 インターアクト 岩淵 菜織

生産技術科 生徒の活動

生産科学コース 3年 小野寺華輝

私は生産科学コースで、農業の楽しさや大変さ、地域農業の現状等多くのことを学びました。2年生から作物分会、草花分会、野菜分会、果樹分会の4つのコースに分かれ調査、研究を行いました。私は作物分会を選択し米の播種から収穫までの栽培管理を学びました。生育調査や夏場の草刈等大変なこともありましたが、先生や仲間を支えられ、続けられたと感じます。農場での実習以外にも、農家見学、農家実習、東京大田市場見学での校外学習も多く、生産者から消費者までの流通のしくみについて沢山勉強することができました。

実習を通じて大変なことも沢山ありましたが、熱心に指導してくれた先生方、一緒に取り組み支えてくれた仲間がいたからこそ楽しく学ぶことができました。私にとって生産技術科、農場は最高の学び舎です。千厩高校で学んだことは将来きつと役立ちます。今まで学んだものを糧に、これからも頑張っていきたいと思っています。



みんなで作った門松



東京大田市場見学



田植え



花壇づくり

生産技術科で学んで

生活科学コース 3年 菅原 由衣

三年間を振り返ってみると、色々なことがありました。楽しかったこと、辛かったこと、嬉しかったこと。どれも良い思い出です。

生産技術科では、様々な知識が学べて将来に役立つことばかりです。私は、二年生で福祉分会に入り、保育園で実習してきました。保育実習で子どもたちと関わることができ、そのお陰で千厩の地域の方々とも関わる事ができました。また、私が一番学びたかったフードデザインの授業では、調理の技術を伸ばすことができ、改めて生産技術科に入学してよかったなあと思っています。



千厩夜市



裏付きジャケット製作



千葉星子氏によるスイーツ講習会



レクリエーション実習

全国工業高等学校長協会ジュニアマイスター顕彰制度
ゴールド表彰3名
シルバー表彰8名 受賞

第一種電気工事士取得に挑戦して

産業技術科 2年 島山 郁也

私が第一種電気工事士の資格取得を目指したきっかけは、将来電気工事士の仕事に就きたいと考えていたのと、以前に第二種電気工事士に合格し、さらに上位の資格を取得したいと思っていたからです。

第一種電気工事士は、自家用電気工作物のうち最大電力が500kW未満の需要設備および一般用電気工作物の電気工事に従事することができ、第二種の上位に位置づけられる国家資格です。試験には筆記試験と技能試験があります。筆記試験は四択のマークシート方式で、五十問出題されます。六割以上の正答で合格となり技能試験へ進むことができます。

私が筆記試験の勉強を始めたのは、試験本番から約一ヶ月ほど前からです。朝と放課後に毎日勉強し、テキストを読み込んだり過去の問題を繰り返し解きながら試験に備えました。練習問題を覚えてしまいうらい練習したので、本番はそれほど難しく感じませんでした。技能試験は、候補問題が十問発表され、当日はその中から一問出題されます。電気工事の作業は得意だったので技能試験はそれほど苦労しませんでした。

今回の受験を振り返ると、この資格は筆記試験が特に難しいように感じました。過去の問題を繰り返し解き、問題慣れすることが合格のポイントだと思います。技能試験については第二種電気工事士の技能試験のときに練習してきた内容を生かすことができるので、一年生



全国ロボット大会



アーク溶接講習



進路報告会

の実習から地道に取り組むことが大切です。この資格取得を通して、技術の向上はもちろん、電気についての興味を深めることができました。この経験を生かし、進路実現に向けて頑張っていきたいと思っています。

全国大会に出場して

産業技術科 3年 加藤 麗央

私は昨年十月三十一日から十一月一日に三重県の伊勢市で開催された全国高等学校ロボット競技大会に参加してきました。

全国大会というものもあり、会場の大きさ競技者、観客数のどれも選考会の時と比べて何十倍の規模でもと緊張しました。その他にも各チームのチームワークが良く、ロボットの質が高かったことから、全国大会に来た事を改めて実感しました。

私たちは初戦で優勝校とあたり初戦敗退となりましたが、自分にはなかったロボットのアイデアがあり良い経験となりました。

特に自律型ロボットが伸びて橋のようになるロボットや通るだけでソケットとテニスボールを取れるロボットなどがありました。橋のようになる自律型ロボットは他の高校にはない斬新

なアイデアでした。通るだけでソケットとテニスボールを取れるロボットは私が初戦で戦ったロボットでした。私たちのロボットは自律型、リモコン型ともに移動速度が速かったのですが、そのロボットは私たちのロボットよりも速く、そして小さく作られていてどの箇所を比べて見ても大きな差がありました。

私が全国大会に出場するのが初めてだったというもあり、規模、各チームのレベルなどどれも想像できませんでした。そして実際に行き競技者として参加して行くことで、全国大会というのがよくわかりました。出場する選手の人たちは真剣そのもので、ロボットの完成度は高く、わずかな時間でも調整にかけていました。また準決勝、決勝は一秒の差で勝敗が決まるハイレベルな戦いでした。

今回の大会でロボットを作成したり、全国大会に参加、出場して様々な事を考え、感じたことで良い経験となり行つてよかったと思える大会でした。

産業技術科での三年間

産業技術科 3年 伊藤 忍

「私は将来、自動車整備士になりたいです。推薦入試の面接ではつきりと答えた事を今でも

憶えています。整備士は専門的な技術職だから、その基礎となる部分を高校で勉強したい。そう思った私は、工業系学科である産業技術科への入学を決意しました。

入学してからは様々な事を学びました。電気やプログラミング、電力、機械などの専門教科はもちろん、電気工事士などの資格取得なども産業技術科の大きな特徴ですが、最大の特徴は、社会人になるための準備をする事だと思えます。社会に出て必要なのは、周囲に気を配りものごとを進めるか、先を見通す力だと私は思います。産業技術科では、毎週の実習や課題研究を通して、人としての力を身に付ける事ができました。特に課題研究では、自分たちで計画を立てて作品を製作したり、大会に出場したり、社会に出て必要な力、就職してから企業に求められる力を大きく伸ばす事ができました。

就職だけでなく、進学も可能なのが産業技術科の強みです。二年生になってから、エンジニアとして車をつくりたいと思うようになり、大学への編入学が可能な高専へ編入をしようと思えました。資格勉強や課題研究などの産業技術科としてやらなければならない事、進学希望者として参加した課外や模試など、進路実現に必要な普通科の活動、この二つを両立するのは大変でしたが、先生方からアドバイスやサポートを頂き、希望通り、高専編入学試験に合格する事ができました。

産業技術科に入学してから、様々な部分で成長する事ができました。入学当初とは将来の目標が変わりましたが、悔いのない進路を実現する事ができたのは、沢山の先生からサポートをして頂いたからだと思っています。これからも目標実現のために頑張っていきたいと思えます。三年間ありがとうございました。

産業技術科

生徒の活動

平成27年度進路決定状況 (2/19現在)

※就職進学は進学で集計

学科	男女別	進学										就職					自営	その他	総計		
		国立大	私立大	短大	国立大	私立短大	専修	医療系	各種	専修	省管轄外	文部科学	小計	受験中	県内	県外				民間	公務員
普通科	計	5	1									14	18	9	1	10	1	11			43
	男女計	3	6			5	2	7	12	2		33	9	10	8	18		18			60
生技科	3E										2			3	1	4		4			6
	男女計	1				1	1	6			9		15	6	21	2	23			32	
産技科	3F										3			8	20		20			29	
	男女計						1	3	5	9		12	2	1	3		3			3	
総計	男女計	5	1			6	3	8	18	8	25	18	24	10	34	1	35			78	
	男女計	4	6			6	8	18		42	9	27	15	42	2	44			95		
		9	7			6	11	26	8	67	27	51	25	76	3	79				173	



御礼

PTA会長
千葉 弘之

春まだ浅い今日この頃ですが、日ごととその気配が感じられるようになり、卒業を迎えられる生徒をお持ちのご家庭の皆様におかれましては、三年間の高校校生活を終えられ、晴れの門出を迎えられたことに心よりお慶び申し上げます。校長先生はじめ諸先生方には授業はもとより部活に、課外と様々な場面で温かいご指導をいただき本当にありがとうございます。

さて、本校は先般キャリア教育推進により、文部科学大臣表彰を県内の高校で唯一受賞しました。生徒一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要となる能力の育成を目指したキャリア教育を推進していることがこの度の受賞となった理由とあります。地域の期待に応えた結果であり、更にPTAと地域ぐるみで生徒一人ひとりの自立にむけた取り組みを推進して参りたいと感じております。今後とも、皆様のご協力をお願い申し上げます。

末筆になりましたが、お子様のご卒業と共にPTAを去られる皆様におかれましては、本会の活動に對してご尽力いただきましたことに深謝し、皆さんの更なるご多幸をお祈りいたしまして御礼のご挨拶といたします。

来年度に向けて

「土台づくりを」



一学年長 岩淵 悟

高校生活も一年が経過しようとしています。思えばあの日、合格掲示板で自分の受験番号を見つけた時、合格通知書を手にした時、いよいよ千高生になれるのだと確信した時、どんなことを考えましたか？中学より格段に難しくなった高校での学習も今はすっかり慣れましたね。忙しい毎日を過ごしている皆さんは今、自分が取り組むべきことに集中して、それらをやり遂げる姿勢と行動が大切です。

一年生諸君は進路目標達成に向けた学習といっても、まだ実感がもてないかもしれません。毎日の学習は進路目標達成に直結していますから、目指す進路がハッキリすれば、それを実現しようとする思いから、日常の学習にも気持ちが伴って生活も充実します。まだ分からないという人は、今はまず自分の興味や関心に忠実になってみましょう。自身についてよく知り、いろんなことに関心を持つ中から、自分が進みたい道が見えてくるはず。毎日の学習を大切に、今からコツコツと確実に基礎を積み上げていき、しっかりととした土台を築いていきましょう。そう、一年前のあの日を思い出して、その時の自分の気持ちを忘れず、これからの高校生活も頑張っていきましょう！



「雑感」

二学年長 高橋 浩良

早いもので、二年生の高校生活もあと実質一年、年末である。来年の今頃の自分を想像して

みて欲しい。就職希望者は全員希望する企業から内定をもらい、進学希望者は大部分、推薦入試で進学先が決定している。これが一番、理想的な姿であるが、現実はいまはいいかない。好景気で就職が好調であるにもかかわらず、赤点があるために就職試験の出願ができない。就職試験を甘く考えていたため、筆記試験・面接試験の準備を怠り、何社受験しても内定をもらえない。進学も同じである。

さて、それではどうすれば希望の進路を達成することができるのか。周到に準備するしかありません。今、正に二年生は「三年生0学期」の時期、就職試験の勉強・進学を目指した受験勉強の開始、そして何故、その仕事に就きたいのか、その会社に就職したいのか、何故、その学校に行きたいのか、その学校で何を学びたいのか改めてじっくり考えて欲しいと思います。何故なら自分のためだからです。就職するのも進学するのも自分が抱いている将来の夢を実現するためです。親のため、学校のために就職・進学するのではありません。自分の将来を切り拓くために君たち二年生はこれから一年間がんばらなければなりません。この二年間を振り返り、学校生活、特に勉強を疎かにした生徒は十分な反省の上に立つて行動しなければ、栄冠を勝ち取ることはできません。まだ、間に合います。何故なら就職も進学もまだスタートラインに立つたばかりだからです。先生方も保護者の方もバックアップを惜しみません。健闘してください。

編集後記

「蒼天の翼」第39号発行にあたり、ご協力いただきました皆様に深く感謝申し上げます。一年のまとめとして、PTA行事・学校行事・生徒たちの活躍等盛りだくさんの内容となっております。また、校報の記事も取り込んだ会報となっております。どうぞ千厩高校ホームページ「校報 理想の翼」もあわせてご覧ください。